

プレスリリース | 2015年

2015年06月11日 [製品情報](#)

CO₂センサキット 酸素マスクシリーズ 新発売

日本光電はこの度、酸素投与をしながら患者さんの呼気CO₂※1を測定可能なCO₂センサキット 酸素マスクシリーズに、新たに成人用2モデル（成人用cap-ONEマスク YG-272T、成人用cap-ONEマスク（大） YG-282T）を追加発売しました。本シリーズは、世界初のメインストリーム式※2CO₂測定用酸素マスクとして、小児用・幼児用の2モデルを2012年6月に発売していますが、成人用の市場ニーズが高かったことから、新たにラインアップを追加しました。

患者さんの呼吸管理指標には、SpO₂※3や呼気CO₂があります。SpO₂は、指にセンサをつけるだけのため患者さんの負担は少ないですが、呼吸停止後に値が低下するまで時間がかかるため、呼気CO₂の方がより早く呼吸停止を検出できます。近年、人工呼吸器使用時の医療安全管理として呼気CO₂を測定する医療機関が増加しているほか、アメリカ心臓協会（AHA : American Heart Association）やヨーロッパ蘇生協議会（ERC : Europe Resuscitation Council）、アメリカ麻酔科学会（ASA : American Society of Anesthesiologists）のガイドラインにおいても、呼気CO₂連続モニタリングが推奨されています。

今回発売した成人用cap-ONEマスクは、プレホスピタルを含むあらゆる医療現場でご使用いただけます。救急、手術室、集中治療室、回復室、一般病棟での鎮静・鎮痛時の呼吸管理や術後管理、各検査時の鎮静管理に加え、呼吸器疾患で治療方針を決めるための参考データとしても有用です。1つのマスクで酸素供給と呼気CO₂連続モニタリングができるため、患者さんの負担が少なく、血液ガス分析装置での測定回数を減らしても容態変化を早期発見できるため、医療機関は質の高い医療の提供とコスト削減が可能です。

日本光電は、ラインアップの充実により、幅広い医療現場に販売展開を行っていきます。

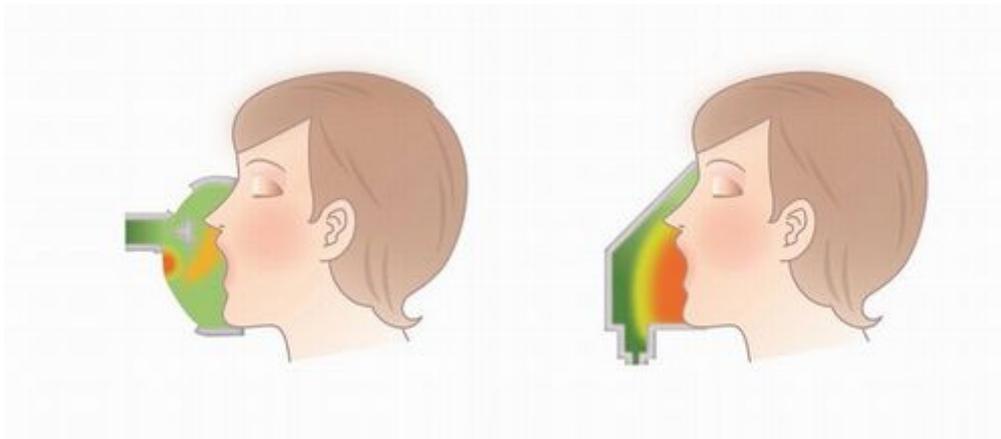
本製品の主な特長は次の通りです。

1. 世界初のメインストリーム式CO₂を測定可能

世界最小・最軽量クラスのCO₂センサTG-970Pと組み合わせることで、世界で初めて、酸素投与をしながら非挿管で呼気CO₂測定が可能。日本光電の生体情報モニタや除細動器、呼気炭酸ガスモニタで、呼気CO₂値や波形（カプノグラム※4）、呼吸・循環の変化等を、速やかに把握。

2. 一般的な酸素マスクよりも安定した酸素供給を実現

鼻・口呼吸による呼気CO₂は計測部へ、余剰な呼気CO₂はマスクの外へ流し、酸素は顔に吹き付け拡散させる構造のため、一般的な酸素マスクよりも酸素濃度変化が小さい構造を実現。



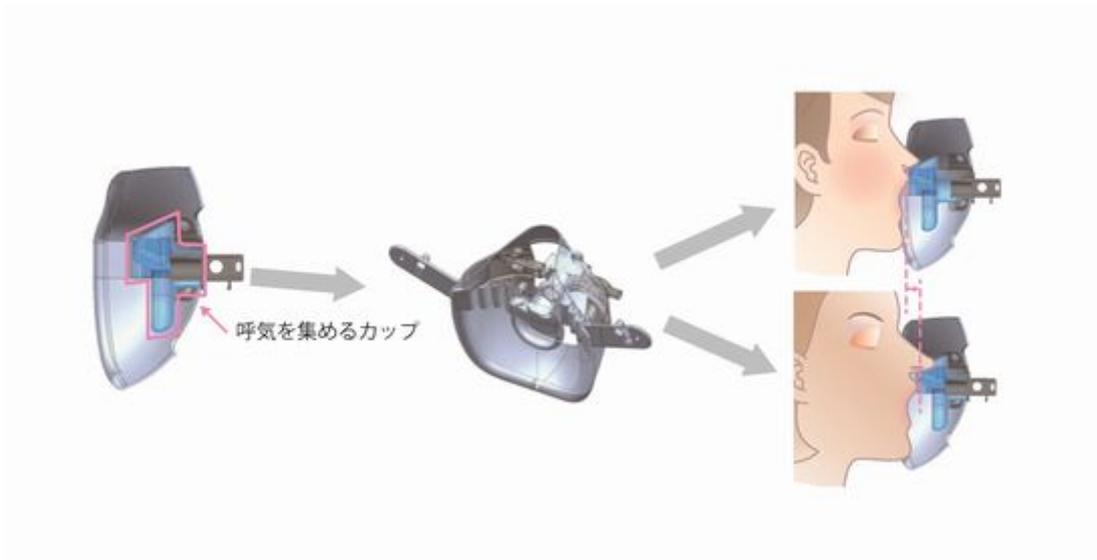
cap-ONEマスク

一般的な酸素マスク

<酸素濃度分布> cap-ONEマスクは一般的な酸素マスクより酸素の濃度変化が小さい

3. 顔面にフィットする構造を実現

呼気を集めるカップは顔の形状にあわせてスライド。フィット性も高く、患者さんにやさしくずれにくいため、測定精度が向上。



<用語説明>

- ※1 CO₂：二酸化炭素
- ※2 メインストリーム式：呼吸回路内に置かれたセンサでCO₂濃度の測定を行う方式
- ※3 SpO₂：動脈血中酸素飽和度
- ※4 カプノグラム：呼気中のCO₂濃度を連続表示する波形

<製品写真>



成人用 cap-ONEマスク YG-272T



成人用 cap-ONEマスク（大） YG-282T

お問い合わせ先：呼吸器・麻酔器事業本部企画部
TEL 03-5996-8032